

習熟度別学習(高学年の部)



5年生では、小数のかけ算の単元から習熟度別に分かれて学習を進めてきました。この単元は次の小数のわり算と共に、5年生の算数の中ではむずかしい単元なので、がんばるコース(先生や友だちと一緒に進めていくコース)と、もりもりコース(自分の力で進めていくコース)に分かれて進めていきました。

どちらのコースも自分たちのペースで一生懸命学習に取り組んでいました。子どもたちの発想を大切にしながら、様々な考え方で問題解決に取り組んでいけるように進めてきました。

友だちの発表を聴きながら「こんな考え方もできるのか」と感心している場面も見られました。



6年生では、分数のかけ算の単元から習熟度別に取り組み始めました。子どもたちの希望によって、2つのグループに分かれてかけ算・わり算の学習を進めてきました。ふだん使い慣れていない分数の計算を、タイル図や数直線を参考にしながら計算方法をみんなで考えてきました。

具体的に見えながら進めることで、見通しを持ちながら取り組んでいけるようになってきました。

また、円の面積の求め方の単元では、円形を色々な形に変形した面積の求め方を、それぞれが工夫した形で計算しようとしていました。友だちの考え方を参考に自分なりの計算方法を何とか見つけだそうと頭をひねっていました。

5年生・6年生ともに単元によって、2グループに分かれての習熟度別学習とクラス全体で取り組むT・T(チーム・ティーチング)の形で学習を進めていきたいと考えています。

少人数で個別にじっくりと考えながら進める場面や、多くの友だちの考えを聞き、そこから自分の考えをより深める場面など、子どもたちの実態を見極めながら、ふさわしい形態を選択していきたいと思っています。

夏休み中の学習について

5・6年とも夏休みのくらしのプリントが用意されていますので、きちんと夏休み中に仕上げるようにお願いします。

特に、5年生の小数の計算では小数点の移動という点が重要になってきます。小数点の処理が上手に出来るかが、次の学年での学習と密接に関係してきます。しっかりと復習・練習をしておいてください。

6年生では図形の面積の求め方で、今までに習った図形に変形してやるとか補助線を入れて考えるなど、中学校での図形の基礎となる考え方が出てきていますので、これも復習しておきましょう。